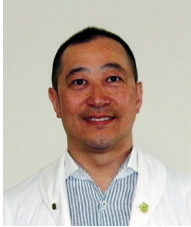




KNEE LIGAMENT RECONSTRUCTION SYSTEM

SPORTS Medicine

vol.12



石川 大樹 先生

日本鋼管病院
副院長・整形外科統括部長
スポーツ整形外科センター長

略歴

1990年 昭和大学医学部 整形外科教室入室
1995年 日本鋼管病院 整形外科医長
1997年 佐々木病院 整形外科部長
2003年 佐々木病院 副院長
2016年 日本鋼管病院 整形外科部長
2017年 日本鋼管病院 副院長・整形外科統括部長
2018年 日本鋼管病院 スポーツ整形外科センター長を兼務

プルアウトボタンの有用性

はじめに

内側半月板後根損傷(MMPRT)の縫合術では、骨孔を作成し縫合糸を関節外へプルアウトしてボタンの上で結ぶ術式が一般的となっている。しかし、この手術手技の際に用いる丁度良いサイズのボタンがなかったため、大きさ、厚み、形状などを考慮した専用設計のボタンを開発した。

症例供覧

MMPRT先端部分にオールインサイド縫合器を用いて大腿骨側と脛骨側にそれぞれ縫合糸を掛ける。7mmの横皮切を脛骨外側に置き、同部位からガイドワイヤーを至適部位に刺入する。4.5mm径のドリルでオーバードリリングして骨孔を作成し、マニピュレーターを用いて縫合糸を骨孔から関節外へ引き出す(図1)。プルアウトボタン(Aimedic MMT社)の穴に縫合糸を通し、ノットプッシャーを用いて緊張をかけながら脛骨上に密着させて結紮する。このボタンは4.5mm径の骨孔に落ち込まないサイズ(8.5mm×6.2mm×1.3mm)に設計されており、薄くて角もなく、ラウンド構造(図2)のため骨面に密着しやすい(図3)。このため術後の違和感などもなく抜去も不要である。

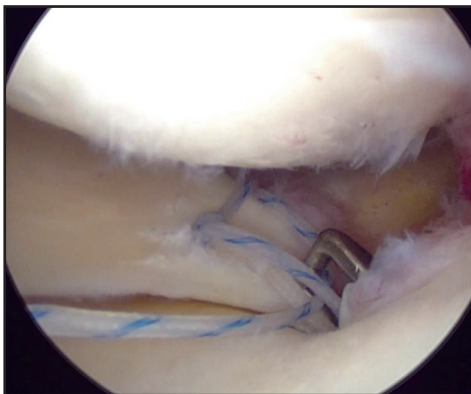


図1



図2 プルアウトボタン



図3

■ その他の部位への応用

外側半月板後根損傷や外側側副靭帯再建術などの時にも応用可能である(図4・図5)。



図4



図5

石川 大樹先生 略歴詳細

1990年 昭和大学医学部 整形外科学教室 入局
 同1990年 昭和大学 第一解剖学教室大学院 入学
 1995年 日本鋼管病院 整形外科医長として勤務
 1997年 社団育成社 佐々木病院 整形外科部長として勤務
 同1997年 横浜Fマリノス育成組織のチームドクターに就任
 2003年 社団育成社 佐々木病院 副院長に就任
 2005年 昭和大学 医学部 整形外科兼任講師を兼務
 2009年4月 佐々木病院 横浜鶴見スポーツ&膝関節センター開設にともないセンター長を兼務
 2016年4月 日本鋼管病院 整形外科部長として勤務
 2017年4月 日本鋼管病院 副院長・整形外科統括部長に就任
 2018年4月 日本鋼管病院 スポーツ整形外科センター長を兼務 現在に至る。

製造販売業者: 株式会社 **Aimedic MMT**

〒108-0075

東京都港区港南1-2-70 品川シーズンテラス

TEL:03-5715-5211/FAX:03-5715-5265

URL: <http://www.aimedicmmt.co.jp/>



製品WEBページ

